

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます！

NPO法人

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第73号 発行日2010年9月27日

Contents

札幌フォーラム	1
アメリカ赤ゲット	2
霞が関ニュース	3
アメリカこぼれ話、立教大学・ツアー	4
食にまつわるエピソード、世界遺産	5
城下町と観光、NEW SPOT	6
NPOからの提案、イタリア通信	7
お天気の話、編集後記	8



趣のある北海道旧庁舎

11月に札幌で第6回フォーラム開催

JN協会 北海道開発・観光がテーマ

JAPAN NOW観光情報協会（松尾道彦理事長）は、第6回「21世紀は大北海道圏の時代」（観光立国フォーラム in 札幌）を11月4日午後2時から札幌市のホテル「ライフオート札幌」で開く。来賓は北海道知事や札幌市長にお願いする。講師は観光庁の武藤次長、北海道開発局の高松局長、JR東海の須田相談役が決まり、北海道の経済開発や観光振興策をテーマに講演する。JN協会が近く出版する「そこが知りたい 観光・都市・環境」を参加者に無料提供する。北海道新聞社に後援をお願いする。

会費は懇親会も含め一人5000円。参加人員は約250人を予定している。今回も札幌市の（株）HK I アクシスが参加者の動員などで協力する。

国土交通次官に竹歳氏が就任

増田国土交通審議官、小澤官房長

国土交通省は8月10日、幹部の人事異動を発令した。谷口事務次官が退任して後任には竹歳誠国土交通審議官が就任し、国土交通審議官には増田優一総合政策局長が就いた。官房長には小澤敬市氏、鉄道局長には久保成人氏、航空局長には本田勝氏、海事局長には井手憲文氏、北海道局長には関克己氏がそれぞれ就任した。

[会員募集] 都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

訪日外国人の誘致に112億円を要求

整備新幹線に国費706億円を投入へ

国土交通省は、8月の平成23年度予算の概算要求で、訪日外国人の誘致関連予算として112億円を要求し、訪日外国人の年間旅行者数1500万人の目標を達成するため中国など東アジア諸国を最重点市場として効果的な誘致活動を展開する。

また鉄道局は北海道新幹線の新青森・新函館間、北陸新幹線の長野・金沢間などの建設に総額706億円の国費を投入することになった。超電導型リニアカーの技術開発事業費として16億円を要求する。来年度予算では、2027年の東京・名古屋間の実用化のため山梨リニア実験線の延伸工事を進める一方、リニアの営業最高速度500キロと片道1万人程度の輸送力の確立や超電導磁石の高度化を進める。

羽田空港でのビジネス機の利用促進

国土交通省が10月31日から実施へ

国土交通省は9月10日、羽田空港の国際化に伴い国際ビジネスジェットの昼間時間帯の利用を可能とし、国内、国際線ビジネスジェットの1日の発着回数を最大8回までとする、などの方針を決めた。羽田空港の国際化が行われる10月31日から実施する。これは近年、欧米諸国でビジネスジェットの利用が増えているため日本でも、その受け入れを促進し、世界の経済拠点としての地位を維持しようという狙いからだ。

JAPAN NOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

アメリカ赤ゲツト

若き日の貴重な思い出

利光國夫 小田急電鉄(株)顧問
元小田急グループCEO

私が海外旅行なるものを初体験したのは昭和47年、小田急電鉄の新都心開発プロジェクトチームの一員としてアメリカに出張した時である。当時は海外出張などは業界の視察団体の一員に管理職が参加するくらいで、社員が独自に海外出張することは異例であった。

選ばれた数人のメンバーは大いに張り切ったが、総務部長が我々だけでは何をしでかすか心配し、団長に担当常務をお目付け役として参加させた。あくまで仕事であるからナイトレジャーなどは禁止すると云うことになっていたが、こちらは「な～に、行ってしまえばこっちのものさ」と意気揚々である。

羽田を飛び立ってサンフランシスコに無事到着、機内から外を見ると作業服姿の黒人ばかりが見えて、いよいよアメリカに来たなという実感が湧いてきた。早速車で市内観光となったが、ゴールデン・ゲート・ブリッジなど一般的な観光スポットを回ってから当時新設されたという複合ショッピング・プラザの視察に行くと、高級店が集まっているだけあって綺麗な女性がやたらと目に付き、肝心の施設よりもそちらの写真ばかり撮る始末、この傾向は出張期間中メンバー一同共通しており、帰国する頃には「メイ アイ テイク ユア ピクチャー？」なるフレーズばかり皆流暢になった。

シカゴではオヘア空港のハイアット・リージェンシーホテルの巨大なアトリウムとシースルー・エレベーターに目を瞠ったが、これが後の小田急センチュリー・ハイアット(現ハイアット・リージェンシー東京)のアトリウムの基になる。

ナイアガラの滝を見物してマリリン・モンローの映画「ナイアガラ」を思い出しながらニューヨーク到着、さすがに摩天楼が並び立つ威容に圧倒されながら視察を続けたが、夜になるとポルノ解禁の状況も視察すべきではないかと言い出す者(私に非ず)がいて、団長以下たちまち衆議一決、夜の街に繰り出した。映画、実演ショーと「視察」をしたが、ここでは詳述しない。

ラスベガス(出張申請書上はロスアンジェルス郊外)では、当然カジノを視察、貴重なドルを少しでも増やさんものと頑張ったが、全員敢え無く敗退した。

かくして何とか無事帰国、羽田の税関手続きを終えててロビーで出迎えの社員に挨拶などしていたが、肝心の団長が一向に出てこない。出迎えに来ている奥様は「主人はどうしたんでしょうか？」と心配そうである。小一時間してやっと出てきた団長、「いや～ どうもすみません」と恐縮の呈。免税店で買った腕時計を申告せず、バレて油を絞られたのだ。

今では海外旅行など珍しくもないが、私にとってはこの旅行は若き日の貴重な思い出である。役員会での出張報告も好評で、小田急初の都市ホテル実現に結びついたことは今でも誇りに思っている。

民間資金を活用し社会資本の拡充

国交省が新たなPPP/PFI事業

国土交通省は9月から11月まで、国の厳しい財政状況の中で今後必要な社会資本の新規投資を行う従来のPFI制度による事業の拡大のほか、新たにPPP/PFI事業を支援するため広く地方自治体や民間企業、NPOから事業提案者を募集することになった。この事業提案者は北海道開発局、東北地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局など各地の整備局で受け付ける。

政府は6月に新成長戦略を閣議決定した。それによると、国や地方自治体がともに厳しい財政状況の中で今後必要な社会資本を整備するためには、民間資金の導入などが必要としている。そのうえで、PFI事業規模を2020年までの11年間で約10兆円の民間資金の活用による公共施設などの整備に取り組むことになった。主な事業内容は、民間事業者が施設を建設し、公共に所有権を移転したあと、事業期間終了まで運営する。民間事業者が施設を建設し、所有したまま運営、事業期間終了後に公共に所有権を移転する、などで、リスクが伴う。

日本など先進国政府の債務残高対GDP比の国際比較(2010年度)によると、日本の債務残高は862兆円でGDP比181%と最悪の状態だ。アメリカはGDP比92%、イギリスは83%、ドイツは82%、フランスは93%となっている。国土交通省は、今回の民間資金の活用テーマとして海洋分野、観光立国、オープンスカイ、建設・運輸産業の国際化、住宅都市などをあげている。

東京・新青森の特急料金は5990円

東北新幹線は12月4日全線開業

東北新幹線は、八戸・新青森間81キロの建設が進み、12月4日に東京・新青森間の全線713キロが開業する。国土交通省は9月24日、JR東日本から申請のあった東北新幹線の特急料金を申請通り認可したが、それによると、東京・新青森間の特急料金(通常期。自由席)は5990円で、仙台・新青森間は4100円、八戸・新青森間は1790円である。指定席はこれに510円を加算する。

また、全線開業に伴い、東京・新青森間は最速列車で3時間20分となり、北東北圏と首都圏の交流が活発になり、函館、札幌など北海道と首都圏も鉄道での移動が短縮される。

会員の投稿を歓迎します 情報紙の充実を目指して！！

観光情報紙2010年11月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400～500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2010年11月25日。締め切りは11月10日。

東京 電が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光立国を支える人たち

ミシュランが選んでいる三ツ星レストランは観光資源になる、という。どのようにして観光資源になっているのか？

料理評論家 山本益博

(やまもと・ますひろ)



東京都台東区浅草出身。早稲田大学第二文学部演劇科卒。卒論は落語家の桂文楽を取り上げる。文化庁の大衆芸能部門の審査員を3年務める。朝日新聞に落語などのコラムを書く。82年にガイドブック「東京・味のグランプリ」を書いてから料理評論家として活躍。62歳。

- 三ツ星レストランは観光資源になるということを書いたり講演したりしていますが、その根拠は何でしょうか？

おいしい料理は料理人の人柄が出ている。もう無くなってしまいました。麻布十番に焼き鳥だけしか出さない「門扇」(もんせん)という店がありました。この主人の岩本一宏さんは焼き鳥の料理に材料探しから刺しまで一本一本全部自分でやりました。焼き鳥を串に刺して食べる時に、次の焼き鳥が前の焼き鳥と同じところに刺してあります。刺す時に同じところをさして行くんです。大根おろしも大根の産地から調べておろしました。この店は01年11月に閉めてハワイで開いています。この店には主人の人柄を慕って常連客が来て、賑わっていました。

- フランスにある三ツ星レストランでも同じことでしょうか？

私はフランス料理の店に5千店近く通っています。三ツ星レストランには日本はもちろんのこと米国などからの客で賑わっています。このレストランの特徴は厨房とトイレがきれいなことでしょうね。ミシュランの調査員もこうしたところを見ていきます。リヨンから20キロにある三ツ星のレストランで料理人のアラン・シャペルはどんなに遅く着く客に対しても必ず料理を出していました。若い夫婦が飛行機が遅れたので料理をキャンセルしますが泊まるのでよろしく、という電話が入った。シャペルはこの電話を聞いて「急がないでもゆっくり来なさいよ」と言ってすぐに厨房に入って他の料理人は帰して自分とパティシエだけを残した。客が着いたときに「よろしければ、夕食を作りますので、テーブルどうぞ」と言った。旅行客はこの扱いに感激した。この旅行客はそのあともこのホテルに来るでしょう。そうした意味でも三ツ星レストランは観光資源なのです。

- そうした話はたくさんあるのでしょうか？

リオンから南に30キロのピラミッドというところに三ツ星の「ピラミッド」というレストランがあり

ました。フェルマン・ポアンというシェフがいて腕をふるってました。1950年代には米国人が金にあかして来てました。日本からは映画監督の山本嘉次郎さんや映画俳優の伊丹十三さんなどが来てました。日本に本格的に紹介したのは料理研究家の辻静雄さんでそれからこのレストランに日本からの観光客が行くようになりました。フランスに八千万人もの観光客が海外から来ているのはミシュランが始めたレストランのガイドブックが大いに役立っているでしょうね。日本も負けずおいしい料理の店を外人に知らせるようにしなくてははいけません。

(聞き手は経済ジャーナリストの阿部和義)

新大阪・鹿児島中央間は3時間47分 九州新幹線が来年3月12日に全線開業

JR九州とJR西日本は9月15日、九州新幹線・鹿児島ルートが来年3月12日に全線開業する、と発表した。九州新幹線は、2004年に新八代・鹿児島中央間127キロが開業し、引き続き博多・新八代間130キロの建設を進めてきたが、来年3月には全線で開業の見通しになった。

JR九州とJR西日本は、九州新幹線と山陽新幹線の直通運転を行うことになったもので、最速列車「みずほ」は新大阪・鹿児島中央間を3時間47分で直結し、「さくら」でも4時間で結ばれる。停車駅や料金は両社で調整しているが、JR西日本は「大阪と鹿児島間は、ライバルの航空機と互角のシェアとなろう」と期待している。九州新幹線の全線開業は、北九州と南九州の主要都市の経済交流を盛んにして、今後の発展に大きく貢献すると見られる。

福岡市、北九州市と近く政令指定都市を目指す熊本市や鹿児島市では、中国、四国、近畿圏の都市との交流拡大にも期待を寄せている。新幹線は開業すると、沿線の都市圏の都市機能を拡大し、観光振興にも役立つ。九州は中国、韓国など東アジア諸国と距離的に近いので、外国人観光客が増えるだろう。



九州新幹線

アメリカ・こぼれ話

「独立戦争 男装の女性兵士」

JN協会理事 北村 嵩

17世紀末のイギリスからの独立戦争は、当時の本国イギリスが財政危機に対処するため、植民地アメリカに様々な課税強化の法案を押し付け、植民地人が起こした抵抗運動から始まったが、イギリス製品の不買運動を実質的に担ったのは女性たちであった。衝突が本格化して戦争になると前線で戦ったのは男性兵士だったが、少数ながら男装して戦争に参加した女性兵士もいた。戦争が終了したずっと後、1818年に年金受給の申請書を提出した女性がいた。その女性デボラ・ガネット（旧姓デボラ・サンブソン）は若い男性用に作らせた軍服で男装して従軍して、一兵卒から次第に昇進し小部隊の副官となった。従軍中に負傷したが、その時には、自分で手当をして女性であることが伏せ通したが、その後、熱を出して入院し、女性であることが発覚し、名誉の除隊となった。彼女は女性としては背が高く、男性兵士と同様に任務をこなし、女性に人気があったといわれている。サンブソン家は初期植民者から続く家系であったが当時は貧しく、彼女は他家に年期奉公として働き、家事や農作業をして頑強な体になり、農閑期には学校に通って知識を身に付けた。除隊後は農夫ガネットと結婚して3人の子供を持ち、学校で教えていたが、極度に困窮な状態にあり、年金受給を申請したが、この申請は快く受け入れられたという。おそらくアメリカで最初の女性兵士だと思われる。

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年の創刊以来、内外の多くのお客様にご愛読いただいていた「JAPAN NOW」誌は、日英全文対訳で学校教材としてもますます高く評価されています。



4月に完成した2010-2011年度版は、日本全国のホテル約100館55,000室の客室に常備されています。

日本文化の再発見を通じて新たな観光資源を紹介し、現代日本を代表する執筆者やカメラマンたちによって日本の歴史といまを生き生きと伝えることが、「JAPAN NOW」誌の編集方針です。

2010-2011年度版では、環境をテーマとした特集において「水」を中心に育まれてきた日本の暮らしのなかの伝統的な環境保全技術や自然とのかかわりを取り上げ、その将来への応用の可能性を探りました。また巻頭インタビュー・ページでは、インテリアデザイナーの内田繁氏と女優の緒川たまき氏にご登場いただいています。1部2000円（送料別）で購入できます。

お問い合わせは（株）ジャパン・ナウへ。

電話 03-3536-1751 / FAX 03-3533-7054



The report of Rikkyo activities.

自衛隊広報センター & ナンジャタウンツアー

Nuggets of Hospitality 増山千尋

2010年6月26日（土）、自衛隊広報センターとナンジャタウンへ行くツアーを行いました。ゲストさんは2人（中国・男性/韓国・女性）です。

まず和光市駅に集合し、自衛隊広報センターに向かいました。駅からは徒歩20分程です。館内を見学し始めると自衛隊の主任広報官の方が、私たち若者が団体で見学に来ていると聞き、直々に説明しに来て下さいました。広報官の方の面白くかつ分かりやすいお話のおかげで、私たちにとってあまり身近ではない戦車や銃、自衛隊の仕組みについても理解することが出来ました。本物の戦車や戦闘機を見たり、防弾ベストなどを着用したり、普段は出来ない体験です。こういった施設をツアーにするのは初めての試みでしたが、新鮮でとても良かったと思います。ゲストさんも自国のことを教えてくれたりして、ゲスト・ホスト共に興味深い時間が過ごせました。

その後は池袋に移動しました。土曜日の池袋は大変混雑していて、途中人混みに流され、はぐれてしまうというハプニングもありましたが、無事にナンジャタウンに向かうことが出来ました。ナンジャタウンでは変わり種の餃子とアイスを楽しみました。様々な味や店の餃子があって、みんなどれにするか迷ってしまうほど。また蒸し暑い日だったので、アイスは特に美味しく感じました。

この日のツアーは午後からのツアーでしたが、大変盛り沢山な内容となりました。今回、「自衛隊」という新たな行き先のジャンルを開拓出来たと思います。またゲストさんと話をしていると、定番の観光地はすでに個人で行っている場合も多いと感じます。こういったことも視野に入れて、これからも積極的に定番の観光地以外もツアーに取り込んでいきたいです!!



食にまつわるエピソード

餃子とラビオリ

筑波学院大学教授 大島慎子

ドイツのシュツットガルト一帯はシュヴァーベン地方と呼ばれるが、郷土料理にマウルターシェン (Maultaschen) と呼ばれる餃子のような皮に具をいれた料理がある。南ドイツの食文化はイタリアのラビオリの影響が強い。マウルタッシェンの皮は小麦粉と水を混ぜ合わせて薄くのばし、大きな皮で肉や、魚のすり身、野菜などを細かにした具を包み、4 - 5センチの大きさにきって、ブイヨンスープで煮ることが多い。名前の由来は、世界遺産にも指定されているマールブロン修道院 (Kloster Maulbronn) から来ているという伝承が一般的である。復活祭の前にキリストの受難を思い断食に入る修道士たちが、肉を食べるのを神様から隠すために小麦粉を水で伸ばした皮に包んだというものである。この修道院は12世紀に建てられたカトリックのシトー派であったが、宗教改革の後に、1504年に閉められプロテスタントに渡されて、修道士は退去している。つまりこのラビオリのような料理は16世紀より前から存在したことになる。

ラビオリといえば、餃子と似ている。似通った食べ物では、東ヨーロッパの、ポーランドやウクライナにはピエロギ (Pierogi) と呼ばれるラビオリ風の食べ物がある。スープで煮た後に、サワークリームや揚げ玉ねぎなどをかけて食べる。

一方、チベット料理にもモモという蒸し餃子があり、チベットは清朝と交流があり、これは確実に中

国からの伝来である。モモは形だけ見ると餃子に似ているが、味や食べ方は異なる。私は、カナダのトロント中心街にあるLittle Tibet Restaurant でモモを食べたことがあるが、ランチメニューで7ドルほど、表面はツヤツヤと弾力があり、中にはしょうが、にんにくなどの香辛料を効かせた牛肉が入っていた。チベットでは通常、具に使うのはチベット高地原産のヤクの肉だそうで、トロントではヤク肉を輸入する経路がないので牛肉で代用していた。



チベット料理のモモ

さてこの似て非なる餃子やラビオリ的な食物の起源はどこかと特定することは難しい。餃子の化石がトルファンのアスターナ遺跡の唐代の古墳群から発掘

されたことは知られている。これが西洋に伝わったのか、その反対なのかは論争になっている。

日本で最初に餃子を食べたのは水戸光圀といわれるので、日本の餃子の歴史は新しい。また、中国と異なり焼き餃子が中心なのは、戦後満州に残された日本人が中国人から残り物の餃子を焼いたものをわけてもらったことに由来するという説もあるが、これも定かではない。21世紀の現代では餃子、ラビオリ、ピエロギは冷凍食品で簡単に入手できるが、由来はミステリアスなのである。

「世界遺産物語」

空中都市・マチュピチュ

近藤 節夫

現在ユネスコに登録されている世界遺産は911箇所ある。その中で最も人気の高いのが、ペルーの山中にあるこの空中都市・マチュピチュである。標高2,280mの頂にある。日本で言えば、北海道・大雪山旭岳ほどの高さである。

世界遺産に登録される半年前の1983年5月、アマゾンからの帰りに仲間と別れひとりペルーを訪れた。リオからリマ空港に到着したのが真夜中で、翌早朝のクスコ行便に備えて空港ロビーで仮眠したことが懐かしい。

クスコから現在運行の豪華観光列車とは天と地の、旧型木造列車でウルバンバ川に沿って到着した終点アグリス・カリエンテスからバスに乗り換え、九十九折の未舗装道路を20分ほど登った。バスを降り暫く歩いて辿りついた頂の眼前に、階段状の遺跡が圧倒的な迫力でぬっと現れた。よくもこんな不便な処に人の住める集落を築いたものだと驚きもし感慨にも耽り、往時の人々の叡智と実行力に舌を巻いたものである。

しかし、残された遺跡を見て、つい古代ピラミッ

ドヤコロッセオと同じ時代の建造物のような時代感覚に陥りがちだが、マチュピチュは16世紀にインカ民族が築いたもので、取り立てて古いものではない。すでにわが国では信長・秀吉の天下統一が成り、寝殿造りや神社・社寺建築を経て城郭建築の時代に入っていた。今日の感覚から言えば、秩父山中



マチュピチュでの筆者

に城郭を築いたようなものだろう。

まもなくしてマチュピチュは侵略したスペイン人によって滅ぼされたが、伝統文化の形と息吹が滅びることはなかった。著名な文

化遺産として今では世界中から多くの観光客が訪れ、偉大なインカ帝国時代の名残とインカ民族祖先の息吹に触れている。

帰り道下るバスの先回りをしながらどこまでも付いてきては九十九折の角地で、わいわい物売りをする逞しい子どもたちの明るい笑顔が、やけに印象に残っている。

城下町と観光

松本城

五層六階の大天守と二層の小天守 北アルプスを背景に聳え立つ

JN協会参与 長宗我部 友親

北アルプス連峰を背景に、無骨な風格の松本城がそそり立つ。城は松本の市街地のほぼ中央に位置していて、黒漆塗りの下見板で覆われている。その濠に映る姿は、信州のひとつの象徴ともなり、名城といえる。



松本城

松本は、もともと信濃の守護小笠原氏の所領で、府中・深志と呼ばれていたが、小笠原長時の代に武田信玄との戦に敗れて、一時ではあるが武田の城代

によって支配された。

だが、織田信長によって武田氏が滅ぼされた後は、徳川家康の後ろ盾で、長時の子の貞慶（さだよし）が、深志に戻る。そして、貞慶が天正十年（1582年）に、深志の呼称を変えて、松本城と命名する。

松本城は、五層六階の大天守閣と渡り櫓でつながった三層の乾小天守で出来ている。石垣はそりが少なく直線的である。天守閣は国宝に指定されている。

天正十八年（1590年）には、小笠原氏は徳川家康の関東入部による国替えで、下総の古川に移され、



旧制松本高等学校の校舎

松本城下・仲町



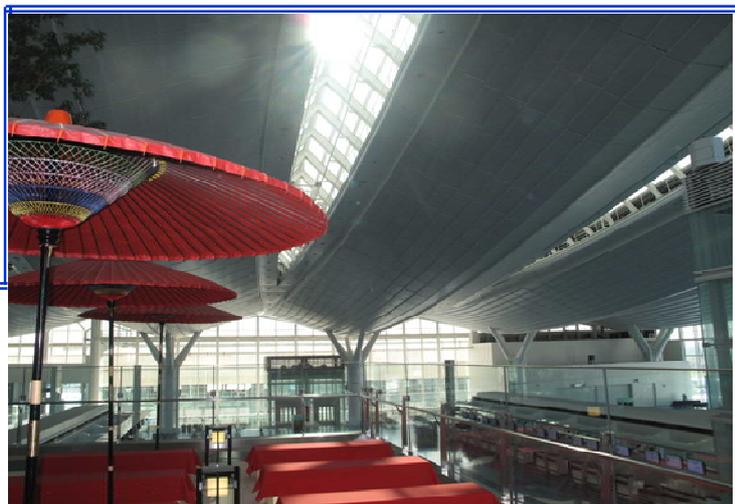
松本には石川数正が、入城する。

だが、その後再び石川氏に代わって小笠原秀政が信濃国の飯田から松本に復帰、入封する。しかし、その小笠原氏も大坂の陣で絶える。

その後は上野国高崎から戸田康長が松本城に入る。康長の正室は家康の妹の松姫だったため、戸田家は松平姓と葵の紋を許された。

松本藩は、その後三代家光の側近から取り立てられた堀田正盛そして水野忠清らが治めることになるなど、城主は次々と代わっている。

松本市内には、松本藩最後の藩主松平光則（まつだいら・みつさだ）が菩提寺の全久院を廃して建てた旧開智学校校舎が残っていて、国の重要文化財に指定されている。また、旧制松本高等学校の校舎も現存している。



国際ターミナルの出発カウンター(右下)と和風飲食街

NEW SPOT

in japan 22

羽田のハブ化

昔、国際空港華やかだった羽田が「国内は羽田」に代わり、いままた「海外にもどんどん羽田」へ脱皮して、新国際線旅客ターミナルが10月21日オープンとなった。旅のアクセスに選択肢が一段と増える。新しい2,500坪の第4滑走路が完成し、年間の発着枠が現在の30万回から3年かけて40万7千回に増える。うち国際線は9万回へ大幅増だ。北京やソウルなど限られた航路が欧米へ広がっていく。

ハブ機能充実へ到着ピークは22時ころ、出発は午前1時ころで24時間営業のダイニングも賑わいそう。土産物・飲食街「江戸小路」は和風を強調した造り。出発フロアはブルー、到着フロアは茶系統で空と大地をイメージする。東京モノレールの新駅「羽田空港国際線ビル駅」はホームが出発ロビーと同じフロアで結ばれ、京急の「羽田空港国際線ター

ミナル駅」は地下3階ホームからエスカレーター1本でロビーへ。

年間7千万人の乗客利用を想定した設計だが、国際線乗り継ぎ利用が広がりそうで、ハブ機能に期待が集まる。成田に比べ都心から至近にあり、利用者は自然と近きに流れる。成田空港はじめ、市民・利用者との対話を超えて強引に進める大開発で成功例は何があるだろう。普天間基地移設、八ツ場や川辺川ダム建設、築地市場移転、外郭環状道路建設など。成田と共存する羽田のハブ化国際化は、未来へどんな教訓を与えているのか。

(写真・文 林 莊祐)

NPOから提案します

育児休暇について思うこと

JN協会理事 加賀市長 寺前秀一

市長の育児休暇が話題になりましたが、市長職には育児休暇はもとより休暇という概念が存在しません。市長は24時間365日市長であり、本当に市長職を休むのであれば職務代理者を置かなければなりません。話題を呼んだ分だけ佐久市長はマスコミより一枚上手でしたが、大局的には同報道はミスリードです。市長という仕事は時間を超えて、地方自治法に定められた事項につき、決定をする、責任をとるという役割であり、育児も政治活動も休息も自己判断で行うべきであります。その点では出来高を重視する江戸時代の農民や職人のほうが現代サラリーマンより進歩的であったのかもしれませんが。

チンパンジーの育児は、五歳くらいまで母親だけで行いますので、チンパンジーの兄弟姉妹は、五、六歳違いです。二、三歳しか離れていないのは人間社会の特徴であり、手のかかる子供が複数いるから、育児に父親が必要になるのです。京都大学霊長類研究所の松沢哲郎博士は、それだけではならず人間は孫の世話を焼く「おばあちゃん」をわざわざ作ったとします。チンパンジーは、最長寿命である五〇歳まで、子供を産みますから孫の世話を焼く余裕はありません。人類は、脳と体が大きくなった分だけ独り立ちまでに時間がかかります。一人ずつ育てていたのでは、とても種としては地球上では生き延びられません。そのため離乳食まで開発して、女性は短期間で妊娠できる体に戻

すのです。同時に人間の女性は、排卵を隠します。チンパンジーのようにお尻をピンク色に腫らして排卵を周囲に知らせていたら、その時しか男性は寄ってきません。排卵が分からないから、男性は常に女性を見ていなければなりません。その結果、人間は男女のペアで子育てをするようになっていくようです(松沢哲郎「学問の、新しい頂を造る」学士会報2010年6月号 pp21-29)。

人間の雌雄の差は他の霊長類より少ないとされず。複数の雌雄からなる集団を形成しながら、異性をめぐる争いを極力抑えて、一対一の男女関係を固定化させる方向に、ヒトの社会が進化してきたことが原因であるといわれます。セックスアピールの場が「身体」から「文化」へと転換したことが、人工物の進化の原動力の一つと考えられています。美しいと感じる美の感覚が、脳内での一種の生物学的反応に基づくことは確かなようです。ヒトの脳は環境の中の複雑な現象を一定の秩序やカテゴリーに当てはめ整理することによって、思考のコストを節約しているとされます。

この体制化の快感という現象を前提として、その秩序を破る少しの崩れやあと一歩で秩序が完成するというわずかな未完成にも、ひきつけられますから複雑です。さらに、みえるものとみえないもの、倫理と美すなわち心の快感とは分かちがたく結びついているとされます(松本武彦『進化考古学の大冒険』新潮選書2009年)からさらに複雑です。観光資源の本質の解明にはまだまだ時間がかかります。

イタリア通信 その16 ~

「ローマオリンピック」をもう一度

2020年の夏季大会に正式立候補

9月に入って1960年のローマオリンピックの話題が毎日マスコミを賑わせている。「1960-2010ローマオリンピック」と題して50年前の1960年8月25日から9月11日にローマで開催された第17回オリンピックを記念する行事も多々行われている。1960年ローマオリンピックの記念切手まで発行された。ローマオリンピックといえば、1964年の東京オリンピックの1回前のオリンピックとして日本人にもなじみが深い。同大会ではオリンピックとして始めて世界にTV実況放送が行われ、エチオピアのアベベ選手が石畳のアップピア街道や古代ローマ遺跡を裸足で駆け抜け、一躍有名になった。

ところで、今回の「ローマオリンピック50年記念行事」は、過去の記憶を懐かしがることが目的ではない。2020年夏季オリンピックにローマが立候補することがこの7月に正式に決まったためそのお披露目プロモーションの第一弾なのだ。

オリンピック立候補に関してはローマ市、ローマ県、ラツィオ州、そしてイタリア政府が政治色の違いを超えて堅いスクラムを組んでいる。なお、2020年は近代イタリア統一後、ローマに首都が移転された1870年から150年の年でもあり、アレマンノロー

マ市長は「大きな夢の実現を」と招聘を力強く呼びかけている。ローマ市が今年1月に実施した市民意識調査でもローマ市民の87%がオリンピック開催に肯定的という。2015年にミラノで開催の決まっている「EXPO2015」に対するローマミラノ間のライバル意識も背景にはあるようだ。



もちろん、第二回ローマオリンピック実現までの道はまだ長い。ライバル都市も多く楽観はできないだろう。でも、もし2020年にローマでの2回目のオリンピック招聘が可能になったら、日本でも、「ローマの次は今回も東京で」という気運も盛り上がるかもしれない。

JAPANITALY.COM社 代表取締役 大島悦子



羽田・新国際線旅客ターミナル見学会 (H22.9.10)

天気予報の種類

今回は天気予報の種類についての話です。短期予報は毎日5時、11時、17時に発表され、5時には「今日」「明日」、11時には「今日」「明日」「明後日」、17時には「今夜」「明日」「明後日」の予報が発表されます。予報の内容には天気はもちろんのこと、風向や風の強さ、予想気温、降水確率、波の高さなどが含まれます。朝の天気予報は、その日に傘が必要かどうかの判断に利用できると思っています。

週間天気予報は、1週間先までの天気、気温、降水確率などで、毎日11時頃に発表されます。

1か月予報は毎週金曜日に、向こう1か月の平均気温、第1週・第2週・第3～4週の平均気温、1か月合計降水量、1か月合計日照時間などが発表されます。3か月予報は毎月25日頃（25日が土日の場合は木曜日）に、向こう3か月平均気温、3か月合計降水量、月ごとの平均気温、合計降水量

などが発表されます。

天気予報（短期予報）	予報発表時から明後日までの風、天気、気温、降水確率などの予報。
週間天気予報	発表日翌日から7日先までの天気、気温、降水確率などの予報
1か月予報	翌週から向こう1か月の気温、降水量などの総括的な予報。
3か月予報	翌月から向こう3か月の気温、降水量などの総括的な予報。
暖候期予報	3月から8月までの気温、降水量などの総括的な予報。
寒候期予報	10月から翌年2月までの気温、降水量などの総括的な予報。

暖候期予報は毎年2月25日頃に発表され、その内容は夏（6～8月）の平均気温、合計降水量、梅雨時期の合計降水量の出現確率などです。寒候

期予報は毎年9月25日頃に発表され、その内容は冬（12～2月）の平均気温、合計降水量、日本海側の合計降雪量の出現確率などです。

それぞれの予報を仕事や行楽などに上手に活用するとよいでしょうね。（日本気象協会 金野雅之）

会員名簿

（敬称略）（個人会員名簿は公開していません）

名誉顧問	： 松山善三（映画監督）
理事長	： 松尾道彦（日本海事センター会長、元日本鉄道建設公団総裁）
顧問	： 丹羽晟（前理事長、日本空港ビルデング顧問）
副理事長	： 白澤照雄（JN協会事務局長）、岡村進（元小田急トラベル社長）、横山善太（株）JALUX特別顧問、大島慎子（筑波学院大学教授）、小竹直隆（元JTB専務）、須田寛（東海旅客鉄道相談役）
支部長	： 片山文彦（新宿）、魚住隆彰（北陸）、麗理沙（立教）、長尾亜夫（九州）、須田寛（中部）、岩田弘三（神戸）、坂本真一（北海道）、梅原利之（四国）、丸森仲吾（東北）、大田哲哉（中国）

【団体会員】（2010年9月27日現在）

AGC硝子建材エンジニアリング(株)、(株)朝日ネット、(有)青葉、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アデス電気(株)、安藤建設(株)、イーエムティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)HKIアクセス、(財)NHKインターナショナル、NPO「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚食品、環境テクス(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)キャドウ、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバン(株)、(株)サマサタ「サジャパソリテッド」、三協立山アルミ(株)、三普旅行社有限公司、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、(株)センタナショナル、常盤興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、パーキングプロ(株)、セントラルリーディングシステム(株)、(株)ダイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)大成ロテック(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、TCTレーディング(株)、(株)哲建、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベーター(株)、東北電力(株)、トヨーカネツリソリューション(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オース・エレベーター(株)、(株)日本海コンサルタンツ、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、専門学校日本ホテルスクール、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)ハロックジャパソリテッド、(株)フィールドサービス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、フナネットワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルリックス、マイナホールディング(株)、(株)まるまんフィオーレ、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

編集後記

中国が最近、自動車のハイブリッド車（HV）や、テレビなどの省エネ家電の生産に欠かせない「レアアース（希土類）」について、輸出枠を大幅に削減する、との方針を決めたことで、輸入国である日本の関連産業が強い懸念を示している。中国は、さらに尖閣列島での日中間の摩擦に関連してレアアースの対日禁輸に踏み切った。中国のレアアースは世界生産の90%を占めており、日本はその大半を中国からの輸入に頼っている。レアアースは希少金属の一つで、鉄などに混合すると磁力が高まり、熱にも強くなる。

中国がレアアースの輸出削減に踏み切った背景には、製錬や加工技術のある海外企業を中国に呼び寄せて技術移転を図りたいとの、思惑があるといわれている。資源小国の日本は、こうした希少金属の使用でも制約がある。政府や民間企業は今後、レアアースの国内備蓄やこれに代わる希少金属の開発に取り組み、レアアースを確保してほしい。一説によると、レアアースは中国以外にも大量に埋蔵されている、との見方があるので、自動車、家電産業の安定成長のためにも資源の自主開発が必要だ。「日本は長期戦略に弱い」との汚名を、この辺で返上して欲しい。（白澤）

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます

JAPAN NOW

観光情報協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄（JN協会事務局長）

編集長：白澤照雄（JN協会事務局長）

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、

地方自治体、民間企業、マスコミなど